

## 神田警察通り周辺まちづくり検討部会分科会（東側） 議事要旨

■日 時：令和2年12月11日（金）14：30～16：30

■会 場：神田公園区民館5階洋室B

■出席者：

〔委員〕

●●部会長

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

〔事務局〕

佐藤地域まちづくり課長、地域まちづくり課、UR都市機構

### 1. 開会

### 2. まちづくりの検討について

○事務局より説明

<意見交換>

【委員】

- ・神田は中小ビルが多く、起業する人が多い。今もそれは変わらない。「チャレンジするまち」という要素が神田のまちづくりに入ってこなければいけないと思う。
- ・近年シェアオフィスがすごく増えており、起業する人も増えている。起業しやすいビルのストックがあるのは、貴重な地域資源だと思う。それを検証しないと再開発のストーリーが作れない。

【部会長】

- ・いろいろなタイプ、いろいろな大きさのビルがあるのは神田の強みだと思う。

【委員】

- ・スポーツセンター建て替えの検討委員会の中で、神田駅西口再開発にスポーツセンターはどうかと提案した。神田駅西口再開発のメインは神田外語学院が学生を集めることであり、スポーツセンターがあれば学生らが集まると思う。人が集まらないと再開発しても意味がない。

【部会長】

- ・駅前だからこそ人が集まるというポテンシャルがある。東京駅の隣であることも活かしていきたい。来街者にはいろいろなタイプの人がいるが、どういったつながりがあると良いか。

### 【委員】

- ・ビルでも起業家を受け入れたり、いろいろな飲食店が入ったりしている。商人と職人のまちなので寛容であり、良いものは受け入れている。まちが寛容であるから、まちがどんどん変化していく。
- ・マンションの新住民は老舗よりも比較的新しい店に入るため、そこで接点が生まれる。お祭りの話になったりするし、町会を紹介することもある。
- ・まちの声を聞いて、リスペクトしてくれる再開発であれば受け入れるという寛容さはあると思う。

### 【部会長】

- ・「どこかのタイミングで、まち側からもアイデアを出したり、発言できたりすることが大事」というのは、今後のまちづくりの進め方であっても良いと思う。マネジメントの話もいずれ出てくる。

### 【委員】

- ・小規模な再開発を支援する公のシステムが必要である。エレベーターも無いような小さいビルでは、建て替えるにも費用が出ない。共同化するにも合意を得られず潰れるケースもある。結局はリードする大規模な会社がないとできない。

### 【部会長】

- ・まちづくり部会などで、地元の意見としてまち全体の考え方ができると、今後行政から開発指導等していくと思う。その中で、中規模の共同化ができる選択肢という視点も重要である。

### 【事務局】

- ・中規模開発時の合意形成について、手法が全くないわけではなく、仕組みがあったりもする。そういったまちづくりの話し合いができる場は大事だと感じた。

### 【部会長】

- ・まちづくり方針の中に答えを載せるのではなく、「きちんと議論して解決していきましょう」という内容を盛り込むのは大切。

### 【委員】

- ・子どもがワテラスの公開空地で自転車の練習をしていたら警備員に注意されたという話があった。容積を緩和しているため、公開空地はもっと半公共的な場として取り扱えるよう法的整備する必要があるのではないかと。見た目だけでは意味がない。

### 【事務局】

- ・ワテラスは都市計画公園と公開空地が一体になっており、公園は自転車禁止と法で決まっている。

- ・公開空地は維持管理のルールが出来上がっているため、それを変えていくことはなかなか難しいが、今後、開発等に合わせて広場を作るときに、「神田スクエアのように子どもの遊び場がほしい」「自転車が乗れるようなところが良い」というような意見をもらい、ルールにしていければ良いと思っている。まちづくりを考えていく中で、困っていること等を教えていただきながら作り込んでいきたい。

**【部会長】**

- ・「使い方を地元と話し合っ、良い開発を進めていこう」という方針があれば、行政がまちづくり方針をもとに個別開発を指導できるようになる。そうすれば地元も意見を言える。いろんな意見を言ってより良いものをつくっていくということが、このまちづくり部会で共有できていると思う。

**【委員】**

- ・大手町川端緑道はスケートボード禁止だが全然守られていない。逆にスケートボードができる広場があってもいいのではないか。

**【委員】**

- ・以前、小川広場で神田警察署と自転車教室をやった。小川広場は自転車に乗ってもいいのか。どこで何をやって良いのかという情報が足りない。

**【部会長】**

- ・広場や公園の使い方の役割分担は既にある。仮にスケートパークがあれば、そこにも役割がある。神田の中でできることが役割分担されれば合理的。いろんな人を受け入れることもできる。再開発で広場をつくる際のルールに出来れば、新しい人を呼び込めるようになる。

**【委員】**

- ・スケートボードを認めるからにはルールが必要である。神田公園で夜遅くまでスケートボードをやっている人がいるが、沿道の住人にとっては迷惑。規則に則って施設を利用できることが望ましい。
- ・神田警察通りを通る人は歩きたばこをしている人が多い。ポイ捨ても多い。規則として守られないと、神田警察通りがきれいに整備されてもつまらない。

**【部会長】**

- ・コロナの影響で喫煙所を閉鎖している事例もある。建物内も基本的に禁煙のため、しばらくこの状況が続くと歩きたばこが増える懸念がある。喫煙所の構え方も重要になってくるのではないか。

**【委員】**

- ・地元の町会に喫煙所が3つできたがどこも密になっている。人が並んでいることもある。

**【部会長】**

- ・若い世代の利用者について、未就学児がいる世帯は多いが、就学のタイミングで引っ越してしまうことも多いと聞いた。「子育ての場」という観点で見た時にどうすると良いか。

**【委員】**

- ・最近マンションができて、子どもがいる人が千代田区から助成金が出るから町会に入りたいと来るが、町会費をお願いすると嫌がられることがある。一方で、町会のイベントに子どもが来た際に、町会費を理由に断ることはできない。そういうマンションがどんどん増えてくると思う。

**【部会長】**

- ・町会活動の中でも子ども向けイベントをやる場や他の町会との連携など、将来に向けてこんなものがあつたらいいなというイメージはあるか。

**【委員】**

- ・こども縁日にはたくさんの子どもがくる。そういうところも接点のきっかけとなる。道路も使わなくても、マンションの広場などでイベントができれば、マンション住民とそうでない人たちとの接点が増えてくるのではないか。マンションがあつて公開空地があつても、通るだけで遊んではいけないというのでは隔てられている感じがする。

**【委員】**

- ・私が子どもの頃は路地が遊び場であつた。路地はほぼ区道である。再開発に伴い区道を付け替えて子どもの遊び場など他のものに転用するのも良い。

**【部会長】**

- ・道路の付け替えで路地の空間はなくなっても、もともとの路地にあつた機能を別の形で継承するよう入れ込んでおくと生きてくると思う。
- ・再開発とセットになると、今までは町会で管理していたところにビル管理をする事業者も加わることになる。その中で地域ルールを組んでいって、きちんとした管理体制ができる可能性がある。公開空地にルール付けして、無理なく経営できれば公園とは違った特色ある利用ができる。そういったことを積極的に期待したいというメッセージがこの部会から出てくると、今後の新しいユニークなまちづくりをサポートする流れにできる。

**【事務局】**

- ・路地に他の機能はあるか。

**【委員】**

- ・車が通れないような道を路地と呼んでいる。町会で年末の夜警をやる時も道路にテントを張っている。近くに広場があつて使わせてもらえるのなら申し込む。あくまで私有地だから申し込めない、というのは違うと思う。

**【委員】**

- ・公開空地は建築許可だけの問題だけではない。土地の所有者だけでなく、公共的に利用できるよう継続的に行政が約束していかないとまちづくりにならない。

**【委員】**

- ・ラジオ体操を道路でやっている。公開空地があれば良いと思う。

**【事務局】**

- ・飯田橋西口のサクラテラスは広場の管理は民間が行っているが、使用に関しては区が申請を受けて許可を出している。公開空地の使用に関しては年間の限度が決められており、好き勝手にできるものではない。

**【委員】**

- ・以前、再開発ビルのホールを町会の用事で使わせてもらいたいとデベロッパーに申し込んだが、円滑に進まず、区に調整してもらったことがある。デベロッパー任せというのを感じた。

**【部会長】**

- ・何もない中で開発における公共貢献要素の是非を行政が判断することは難しい。今日の議論の中で、公共貢献のキーポイントが見えてきたと思う。
- ・商いの観点で、コロナの観点も含めてもっとうなるといいなということはあるか。

**【委員】**

- ・かつて神田の人たちが住むまちはこの雰囲気ではなかった。人間味があり、みんなで助け合って町会を運営していた。神田のまちが難しくなっているのが心配である。

**【部会長】**

- ・私も過去に神田で活動をした時に、町会のしなやかさを実感した。どのように継承していくかは大きな課題である。

**【委員】**

- ・以前は新しい人がまちのルールに適合していくのが普通だった。今はマンションの住民から苦情がくる。近所づきあいの場になっていた路地がなくなったことが原因ではないか。

**【部会長】**

- ・新しいまちづくりの中で、路地でのご近所づきあいのようなものをどのようにして取り戻していくのか、大きくはそういった議論をしているのだと思う。

**【委員】**

- ・西口の路上看板の件も言うことを聞いてくれない。昔は町会長が注意すれば話がついた。

**【委員】**

- ・ベースマップ上、出世不動通りの赤丸をもう一つ左の交差点に移してほしい。中神田十三ヶ町の神輿ルートはもう少し長い。十三町会すべてめぐるようになっている。

**【事務局】**

- ・お神輿はどこにしまっているのか。

**【委員】**

- ・町会で蔵をもっているか、ないところは神田明神のお神輿蔵に入れている。

**【委員】**

- ・鎌倉町会は現在尾嶋公園を区と調整の上使っている。尾嶋公園ができるまでは路地に置いていた。

**【委員】**

- ・旭町の場合は佐武稲荷の隣の路地にテントを置いて、祭りの3日間だけ路上に置かせてもらっている。

**【委員】**

- ・根本的な問題は住居表示。マンションの住民は「鎌倉町」ではなく「内神田」に引っ越してきた感覚。町会名を説明するのも大変。

**【委員】**

- ・旧町名に戻すのが一番良いと思う。

**【部会長】**

- ・コミュニティの単位と町会の話は非常に大事なだと思う。住居表示の変更は大変だが、いずれソフトのマネジメントの話につながっていったときに、旧町名の単位を活かすことを前提に出来ると、建物が建て替わったり開発したりするときにまちづくりのマネジメント組織を経由することで町会と接続できる仕組みができるのではないかな。

**【委員】**

- ・一神町会はプレートがあるので、見てすぐわかる。旧町名を付けるキャンペーンなどをやっても良いかもしれない。

**【委員】**

- ・再開発がないともたないという現状もある。住民のコミュニティができて、町会も存続できるような再開発なら行っていいと思う。

**【部会長】**

- ・地域を持続させていくための再開発のためには、良い空間設計をしていくことが重要である。また、再開発をやるところだけが持続できれば良いのではなく、全体をどうしていくかという視点が大事。大規模だけでなく、小規模、中規模の再開発も考えていかなければいけない。多様さがある神田をどのように維持持続していくのか。各開発の計画を俯瞰で見てマネジメントしていく場も

大切である。

**【委員】**

- ・靖国通り沿いのスポーツ用品店の集積など、地域の特性が反映できるようなものがあると良いと思う。

**【部会長】**

- ・江戸から始まる商業集積が神田の特徴。商業の持つ側面を大事にしていくことも重要。商業文化を続けていくことは、町会を維持していくことと同じぐらい神田の個性を生かしていく、残していくことにつながる。その時に神田警察通りにどういうカラーが見えるのかは大事な投げかけである。

**【委員】**

- ・東側は江戸時代から続く多様性のある「雑多なまち」である。

**【部会長】**

- ・神田は、他の地域で言われる「整ったまち」とは真逆な「雑多なまち」。意外性のある出合いが神田の特徴であり魅力でもあるが、それをどのようにして大事にしながらか更新していくのか。開発サイドから見ると通常と違うアプローチが必要という気がするので、それをどう説いていくのか。
- ・神田は、いろんなものがあって、他と違う小さなものが集まっているため個性があり、助け合える「お互い様」の良い相乗効果が起きている。開発の敷地だけで完結するのではなく、地域の人たちや周りの人たちが入って計画が完成するようなことが神田のあちこちで起きるとまちとしても活気づくし、助け合うようなお互い様な関係になる。お互いに認め合って、応援したり助け合ったりするようなまちづくりが大事。助け合うために、「足りなさ」を寄せ集めてこられるような関係を神田警察通りの様々なところにつくっていくことによって個性的になる。こういったことを方針としてまとめられれば良いと思う。

### 3. その他

### 4. 閉会